

バックアップ拠点の可能性について

(第3回ビジョン検討会議資料 令和元年12月20日開催)

令和2年1月21日

山梨県

山梨県における主な災害の状況

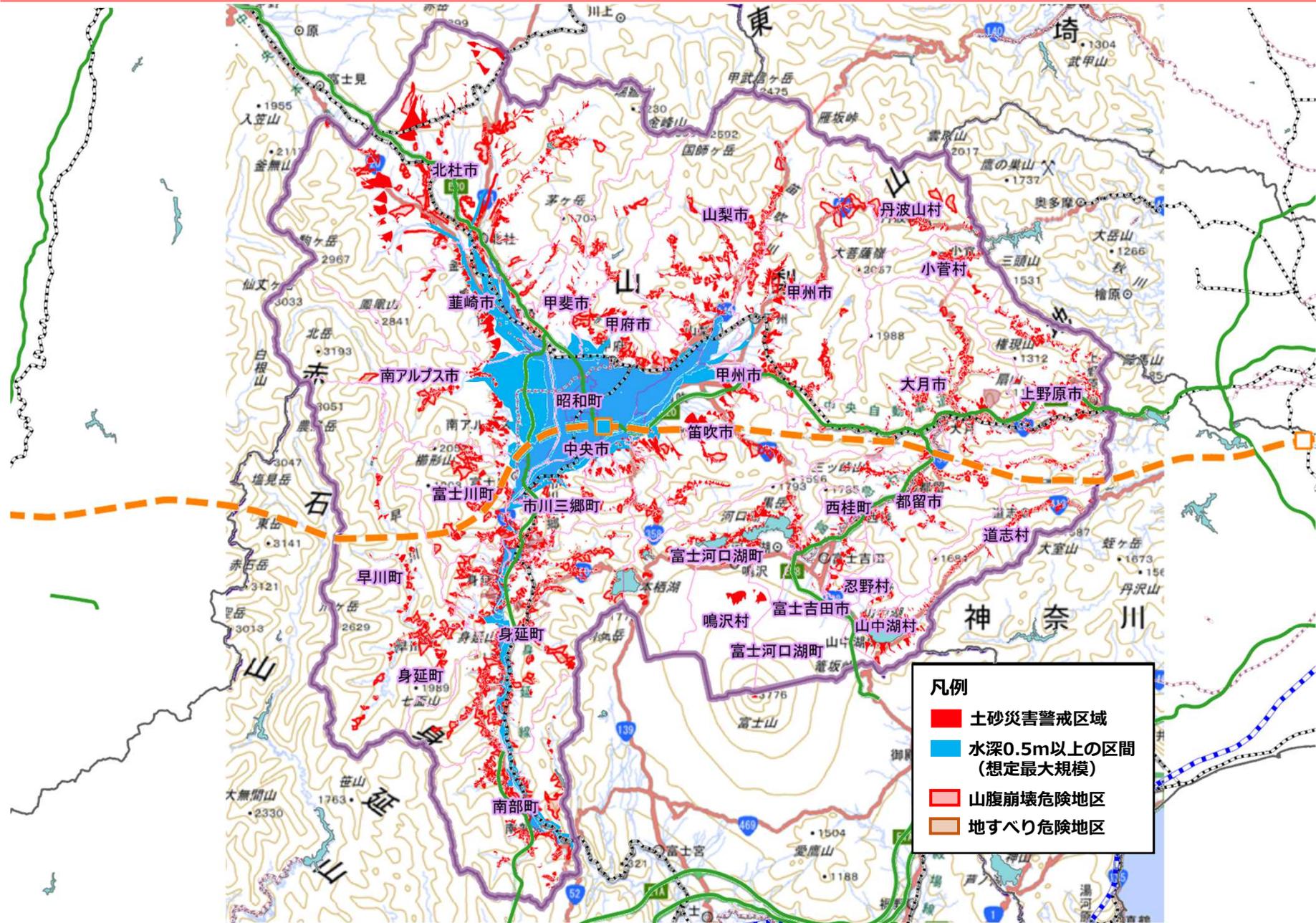
主な山梨県内の水害	
1959年	8月 台風7号により1907年以来の大被害 特に釜無川・大武川・早川・重川で土石流による被害甚大 死者90人、負傷者794人
1959年	9月 台風15号（伊勢湾台風）により被害が拡大 死者15人
1961年	6月 梅雨前線豪雨により東山梨郡の大沢山で崖崩れ、倒木と土砂が 西の沢をせき止め、29日土石流となって牧丘町（北原地区）を襲 い、死者5人
1966年	9月 前線・台風26号豪雨のため足和田村（根場地区）等で土石流 が発生 死者175人
1982年	8月 台風10号豪雨により大月市浅川地区・秋山村無生野地区で土 石流が発生、早川の氾濫で早川町の一部が孤立 死者7人
1983年	8月 5号・6号と続いた台風の豪雨により大月市・富士吉田市の東 部で被害拡大、道路・鉄道等全交通機関が不通、死者3人
1991年	8月 台風12号豪雨により大月で日雨量395mm 大月市の国道20号で土砂崩壊、死者7人
2000年	9月 秋雨前線と台風14号による大雨で県の中西部に被害が集中 甲府で24時間雨量294.5mm、床上浸水102戸、床下浸水525戸
2003年	8月 台風10号により県内で大雨 死者1人
2004年	10月 台風23号により県内で大雨 甲府市善光寺町で土砂崩れ発生、床上浸水57戸
2011年	9月 台風第12号による大雨と暴風 半壊1戸、一部破損3戸、床下浸水13戸 土石流等8件、地すべり1件、がけ崩れ8件
2017年	10月 台風第21号及び前線による大雨及び暴風等 一部損壊1戸、床上浸水2戸、床下浸水7戸 土石流等1件、地すべり1件、がけ崩れ1件
2018年	9月 台風第24号による暴風・大雨等 半壊8戸、一部破損82戸、床上浸水5戸、床下浸水3戸 土石流等1件、がけ崩れ2件、負傷者（軽傷）1名
2019年	10月 台風19号による大雨により、大月市の国道20号で橋梁陥没 勝沼・大月・上野原・富士川・古閑・切石・南部の気象台観測所で 日最大雨量を更新 床上浸水2戸、床下浸水3戸、土砂流入3戸

主な大規模地震時の山梨県の被害	
1923年	『関東大震災』 9月1日 11時58分発生 M7.9 甲府 震度6 県内死者20人
1944年	『東南海地震』 12月7日 13時35分発生 M7.9 甲府 震度5 県内負傷者2人
1983年	『山梨県東部地震』 8月8日 12時47分発生 M6.0 甲府 震度4 県内負傷者5人
2011年	『東日本大震災』 3月11日 14時46分発生 M9.0 三陸沖東方 70km 震源の深さ 24km 甲府 震度5弱 中央市、忍野 震度5強 ※山梨には直接の人的物的被害なし。
2011年	『静岡県東部地震』 3月15日 22時31分発生 M6.4 富士山頂南 4~5km 震源の深さ 14km 甲府 震度4 忍野村、山中湖、河口湖 震度5強 ※山梨には直接の人的物的被害なし。

※水害：死者が出たもの及び浸水被害、土砂災害等10戸以上の被害が生じたものを抽出
地震：県内震源地はM6.0以上かつ県内震度4以上
県外震源地はM6.0以上かつ県内震度5以上 を抽出

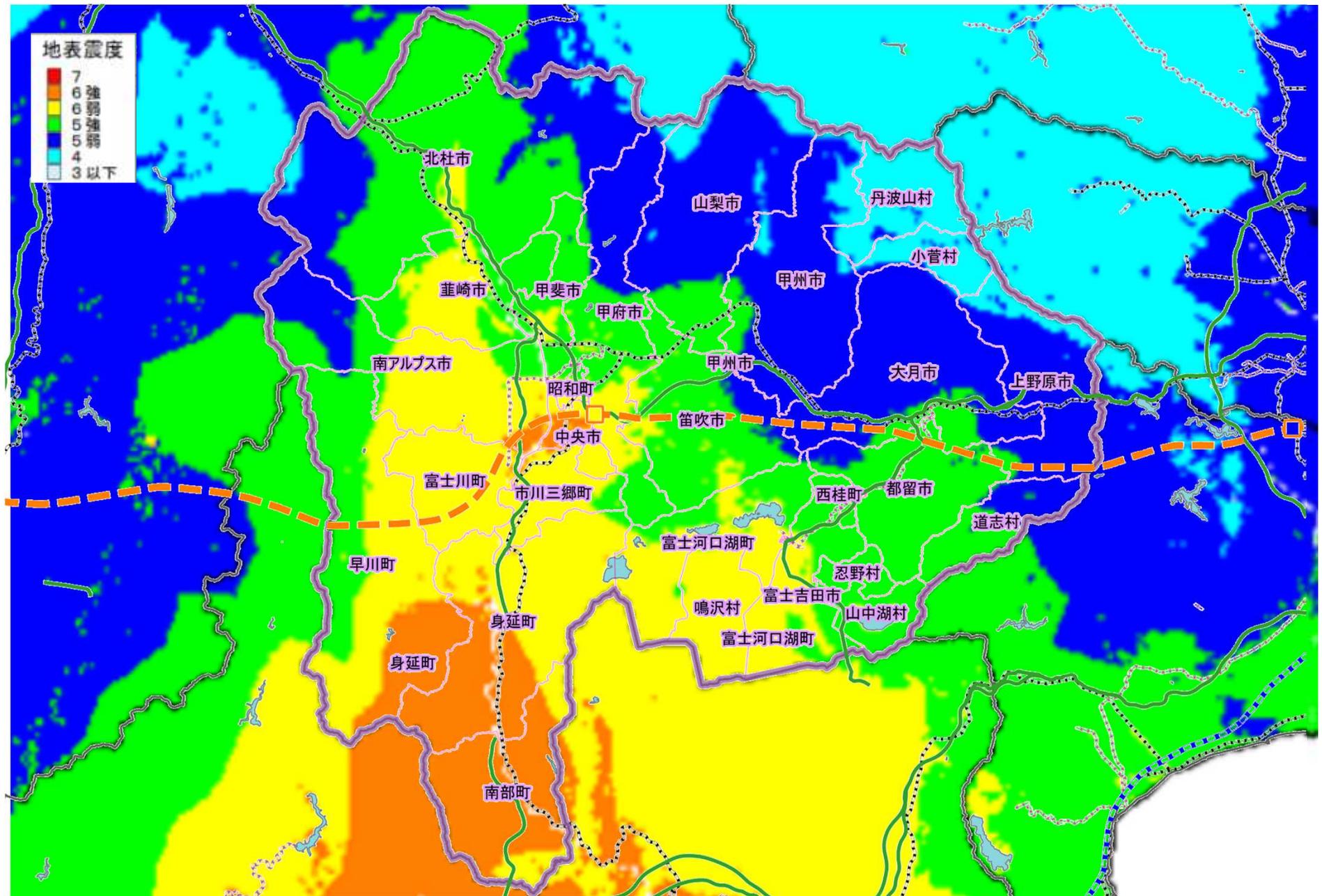
出典：気象庁、山梨日日新聞社、甲府市災害史、山梨県立博物館、資料より作成

浸水想定区域・土砂災害警戒区域・山地災害危険地区の状況



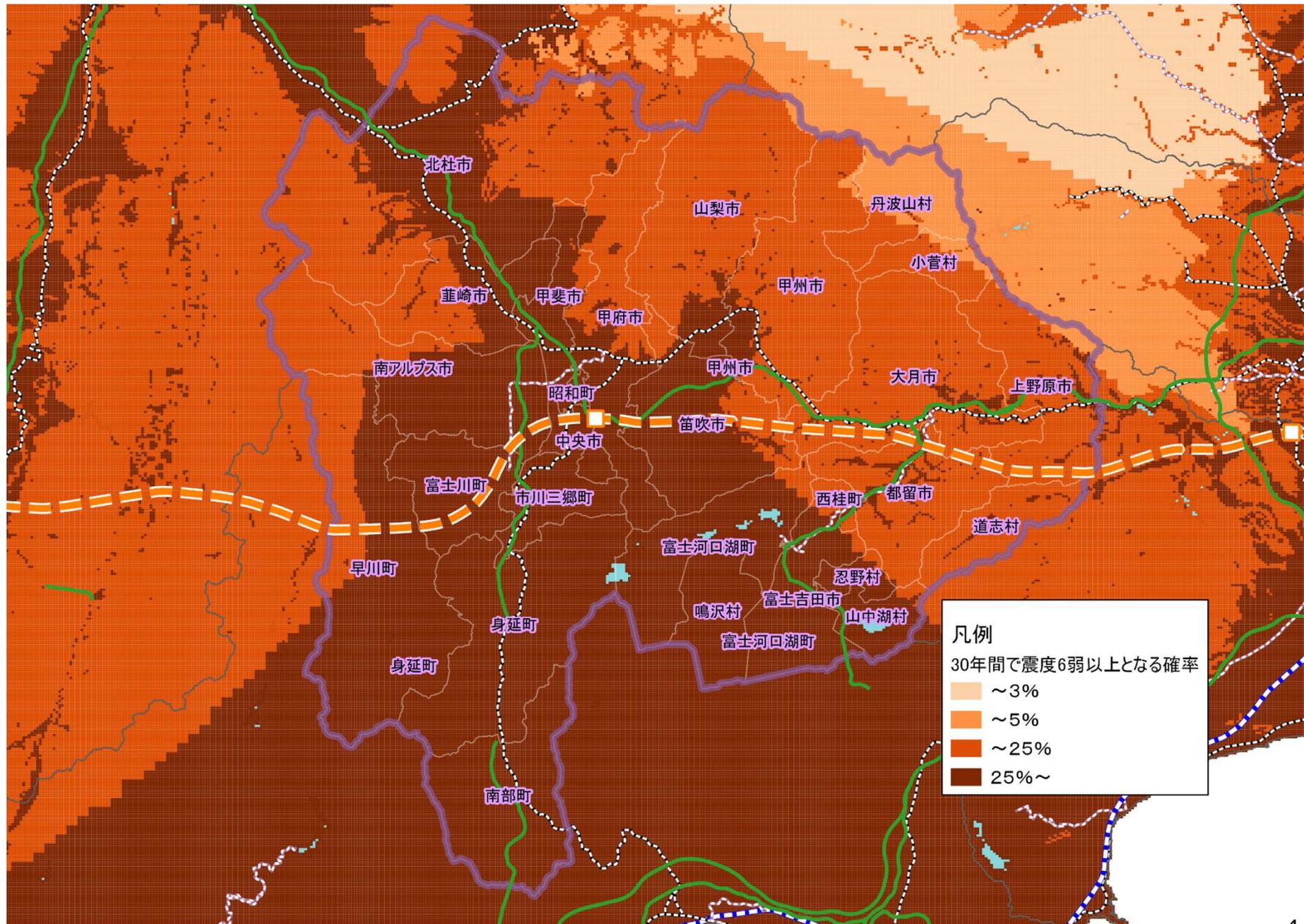
出典：浸水想定区域：国土交通省甲府河川国道事務所「富士川流域浸水想定区域図」（2017年3月）、山梨県「浸水想定区域」（2019年6月）
 土砂災害警戒区域：国土交通省「国土数値情報 土砂災害警戒区域データ」（2018年8月1日時点） 山地災害危険箇所：山梨県「山地災害危険地区情報」（2019年11月）

震度想定（南海トラフ地震）



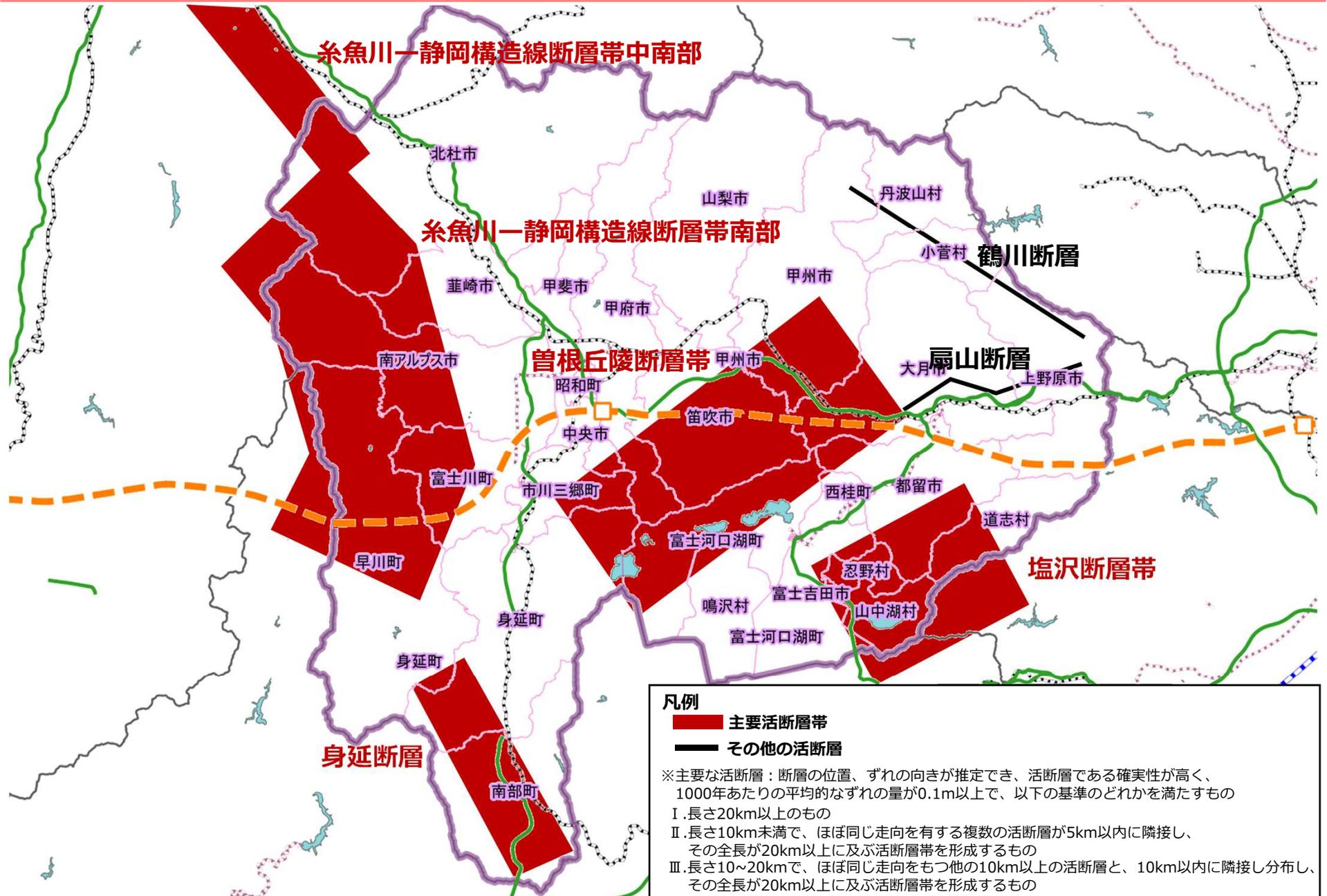
出典：内閣府「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」震度分布図（基本ケース）

30年以内に震度6以上の揺れに見舞われる確率の分布

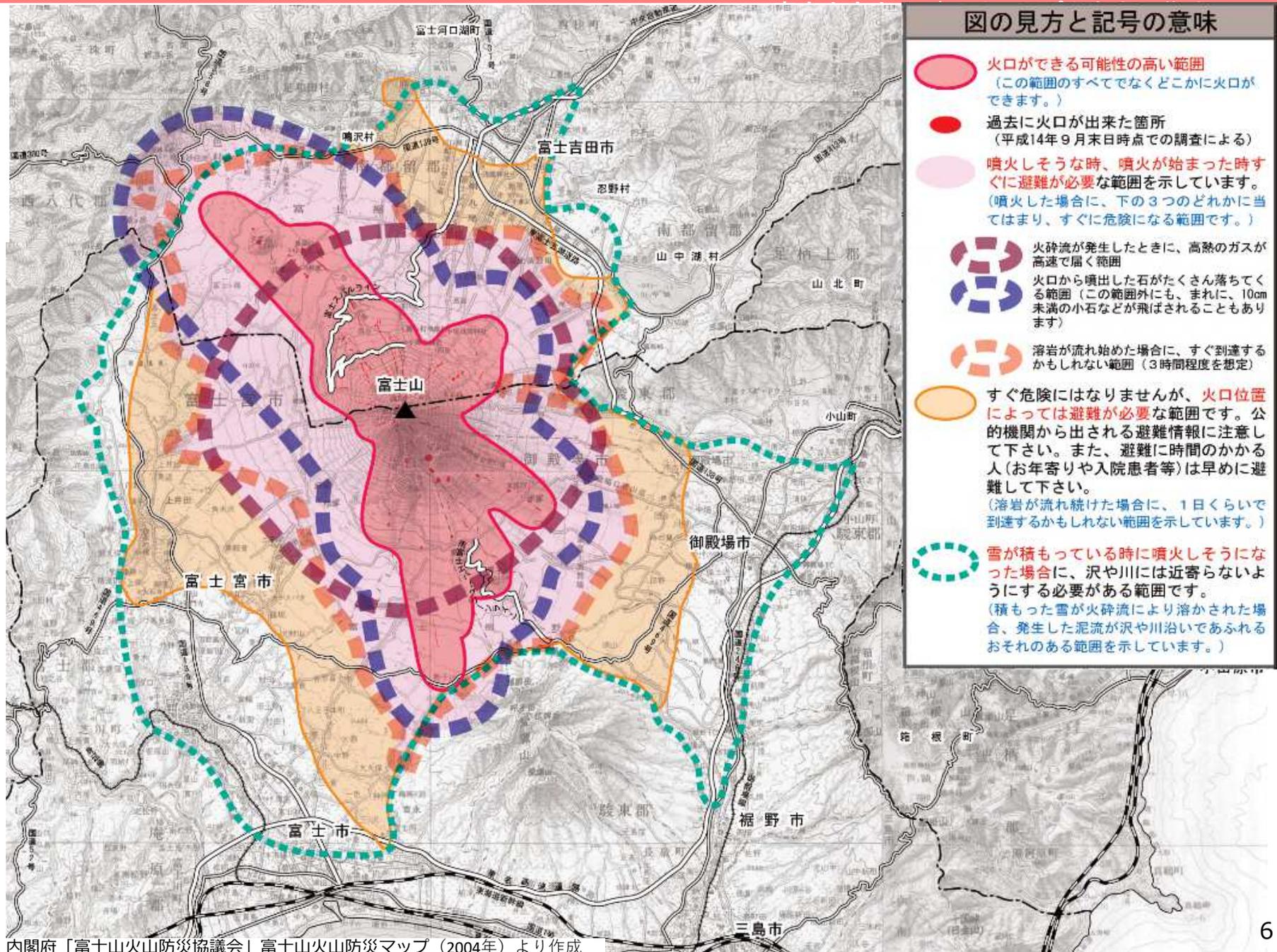


出典：防災科学技術研究所「地震ハザードステーション」より、確率論的地震動予測地図（2019年基準、すべての地震、平均ケース）より作成

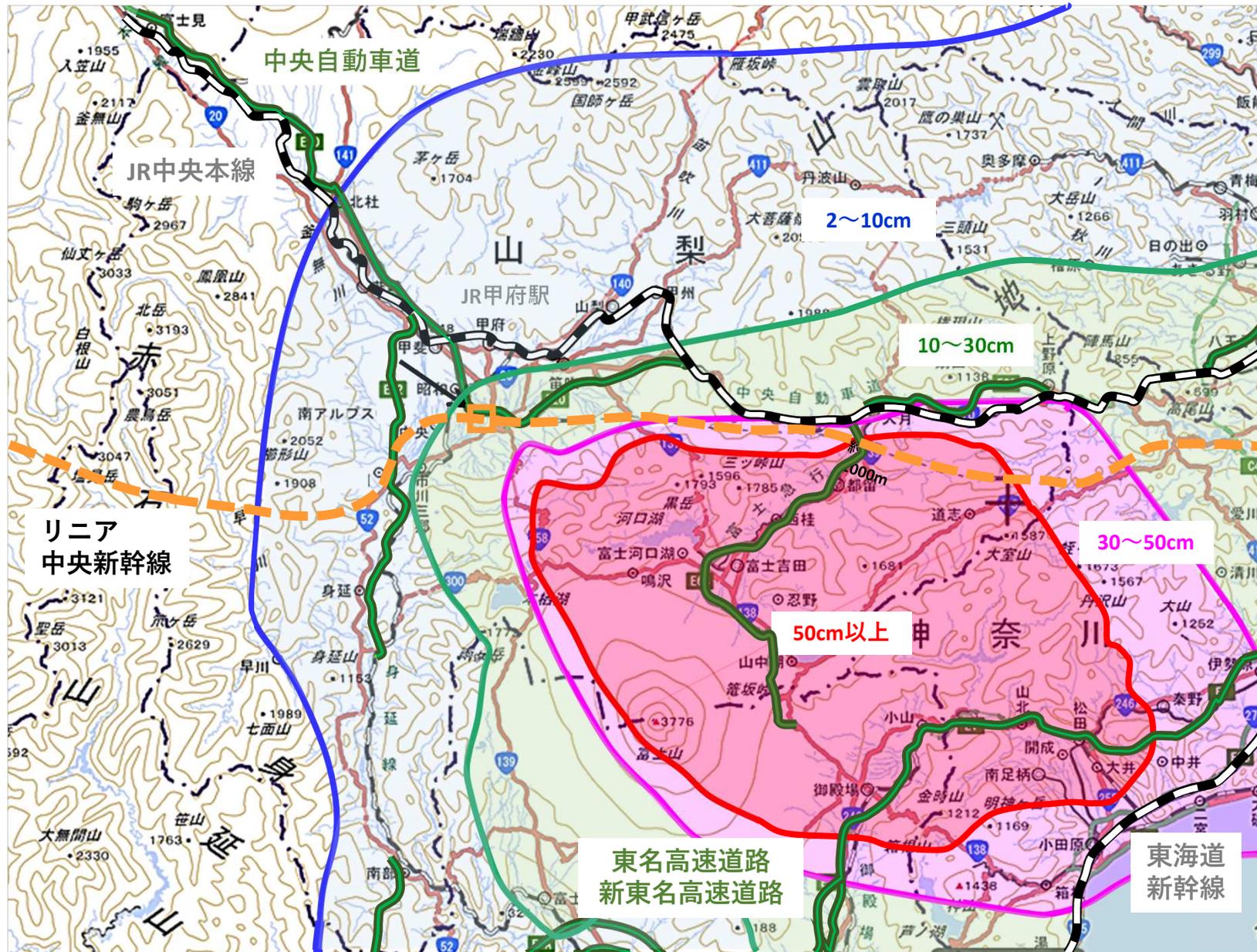
活断層の状況



富士山噴火による溶岩流・噴石・火砕流の影響範囲



富士山噴火による降灰予測



災害時のバックアップ拠点事例

立川広域防災基地

位置：東京都立川市緑町地内外

面積：約118ha

機能：
・都心部が被災した際の、緊急災害対策本部予備施設機能
・南関東地域（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）に広域的な災害が発生した場合の人員・物資の緊急輸送の中継・集積拠点機能

施設：
・政府災害対策本部予備施設（内閣府）
・海上保安庁関係施設
・自衛隊航空関係施設（滑走路L=1,200m含む）
・警視庁関係施設
・東京消防庁関係施設
・防災要員宿舎
・医療施設
・日本赤十字社関係施設

立地：
・都心から約30kmの距離
・比較的地盤の良い台地上に立地
・昭和記念公園（約165ha）に隣接し
物資の一時集積、被災者対策に活用可能
・都心部の大規模火災時、東京の恒常風により煙の影響を受けにくい

緊急災害対策本部の設置場所順位

首相官邸

中央合同庁舎第8号館
内閣府 内閣官房

防衛省
中央指揮所

立川広域防災基地



出典：
立川市 HP
内閣府「立川広域防災基地及び災害対策本部予備施設(概要)」より引用し作成

災害時のバックアップ拠点事例

東京湾臨海部基幹的広域防災拠点

有明の丘地区（東京臨海広域防災公園）

- 位置：東京都江東区有明3丁目
 面積：約13.2ha(国営公園6.7ha,都立公園6.5ha)
 機能：
 ・災害現地対策本部機能(災害時)
 ・広域支援部隊の活動拠点機能(災害時)
 ・広域医療搬送拠点(災害時)
 ・災害時の訓練・学習施設機能(平時)
 施設：
 ・有明の丘地区本部棟
 ・ヘリポート
 ・災害医療支援スペース
 ・癌研有明病院
 ・活動部隊ベースキャンプ地
 立地：
 ・東京湾臨海部の埋立地

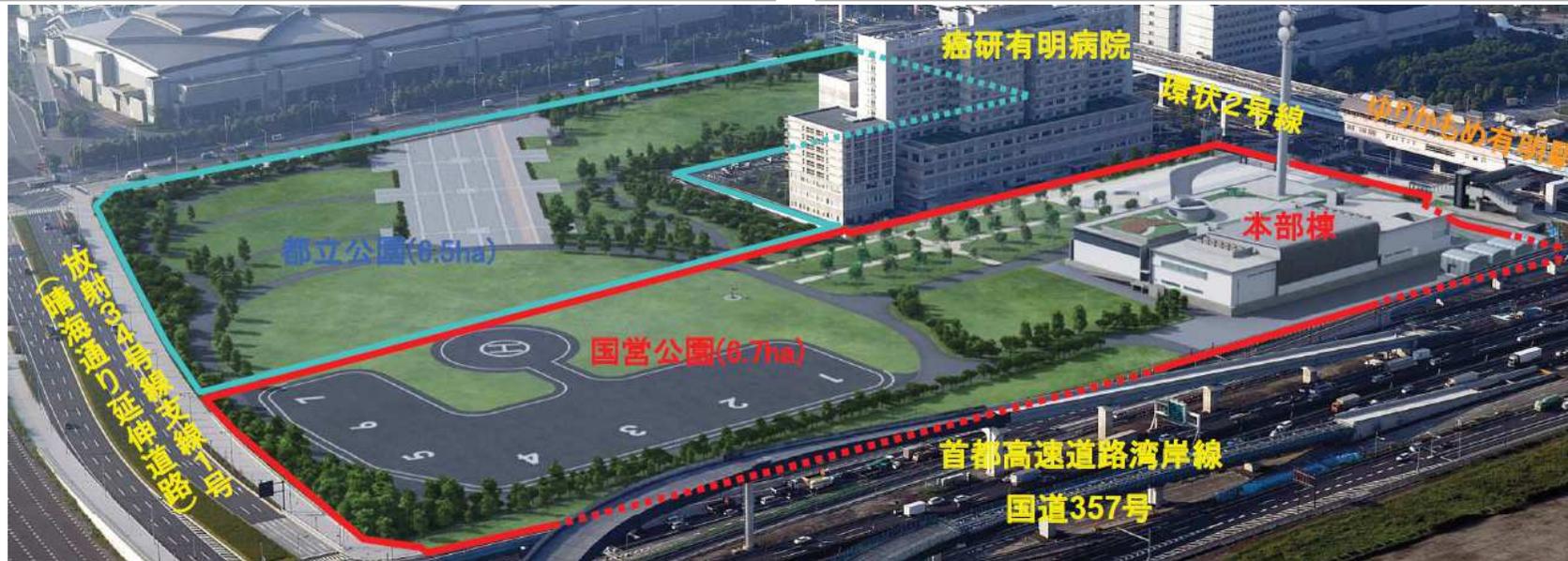
東扇島地区（東扇島東公園）

- 位置：神奈川県川崎市川崎区東扇島
 面積：約15.8ha
 機能：
 ・資機材・物資の輸送拠点機能(災害時)
 ・人々の憩いの場としての公園機能(平時)
 施設：
 ・東扇島地区物流コントロールセンター
 ・首都圏臨海防災センター
 ・ヘリポート
 ・舟運基地
 ・物資輸送中継基地
 ・活動部隊ベースキャンプ地
 立地：
 ・東京湾に造成された人工島
 ・周辺に埠頭用地などの港湾物流機能

一体的に機能

出典：内閣府「首都直下地震対策協議会」東京湾臨海部基幹的広域防災拠点 より引用し作成

出典：国土交通省関東地方整備局 HP より引用し作成



(写真)有明の丘地区 内閣府「首都直下地震対策協議会(第1回)資料9」より

災害時のバックアップ拠点事例

中京圏広域防災拠点（検討中）

- 位置：静岡県静岡市、愛知県名古屋市
- 機能：
 - ・災害現地対策本部機能(静岡県庁、名古屋合同庁舎2号館)
 - ・国内外からの物資・人員の受入れ機能
 - ・広域的な物資・人員輸送拠点機能
 - ・ベースキャンプ機能
- 施設：
 - ・三の丸地区（名古屋合同庁舎2号館）
 - ・静岡県庁
 - ・名古屋港
 - ・名古屋飛行場
 - ・富士山静岡空港



出典：国土交通省中部地方整備局「中部圏広域防災拠点ワーキンググループ」
 中部圏広域防災ネットワーク整備計画
 国土交通省中部地方整備局「防災拠点のネットワーク形成に向けた検討」より引用し作成

京阪神都市圏広域防災拠点

大阪合同庁舎4号館

- 位置：大阪府大阪市中央区大手前
- 機能：
 - ・合同現地対策本部機能(災害時)
 - ・庁舎内での通常業務(平時)
- 施設：
 - ・現地災害本部会議室(2F)
 - ・打合せスペース(2F)
 - ・オペレーションルーム(4F)
 - ・災害時に使用する情報機器類は都度、立川防災基地から搬入
- 立地：
 - ・大阪府庁ほか多くの官公庁が集積する
 - ・大阪都心部の大手前エリアに立地。



堺泉北港堺2区 基幹的広域防災拠点

- 位置：大阪府堺市堺区匠町
- 面積：約27.9ha
- 機能：
 - ・救援物資の中継・分配機能(災害時)
 - ・広域支援部隊の集結地・拠点機能(災害時)
 - ・応急復旧用資機材の備蓄機能(災害時)
 - ・災害医療支援機能(災害時)
 - ・人々の憩いの場としての機能(平時)
- 施設：
 - ・近畿圏臨海防災センター
 - ・物資輸送中継基地
 - ・広域支援部隊の集結地、ベースキャンプ地
- 立地：
 - ・臨海部に立地し、臨港道路で都市圏、岸壁、工場群とのアクセスが結ばれている。

出典：内閣府「京阪神都市圏広域防災拠点整備協議会（第4回資料）」より引用し作成

出典：国土交通省「堺泉北港堺2区 基幹的広域防災拠点の概要」
 国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部 近畿圏臨海防災センターHP より引用し作成

災害時のバックアップ拠点事例

奈良県広域防災拠点（検討中）

- 位置：奈良県五條市阪合部新田町
- 機能：
 - ・ 救援物資の中継・分配機能(災害時)
 - ・ 広域支援部隊の集結地・拠点機能(災害時)
 - ・ 応急復旧用資機材の備蓄機能(災害時)
 - ・ 住民の避難場所機能(災害時)
 - ・ 防災に関する研修・訓練機能(平時)
 - ・ 住民の憩いの場としての機能(平時)
- 施設：
 - ・ 滑走路(約2,000m)
 - ・ ヘリポート
 - ・ 備蓄庫
 - ・ 消防学校
- 立地：
 - ・ 紀伊半島の中心部に位置する内陸地
 - ・ ゴルフ場跡地に建設予定
 - ・ 陸上自衛隊駐屯地を併設する構想もある



出典：奈良県HP、五條市HPより引用し作成

国土地理院 地理院地図 より

Gメッセ群馬

(建設中2020年4月オープン予定)

- 位置：群馬県高崎市岩押町
- 機能：
 - ・ 首都圏への広域的な物資輸送拠点機能
 - ・ 地域住民の一時避難受入れ機能
 - ・ 帰宅困難者の受入れ機能
 - ・ 自衛隊、消防、警察の一時集結拠点機能
- 施設：
 - ・ 展示場(物資の仕分け)
 - ・ 会議室(地域住民、帰宅困難者受入れ)
 - ・ コンコース(地域住民、帰宅困難者受入れ)
 - ・ ホワイエ(地域住民、帰宅困難者受入れ)

出典：群馬県 HP
群馬県企画部コンベンション推進課
「群馬県コンベンション施設 基本設計 概要版」より引用し作成

さいたま新都心

- 位置：埼玉県さいたま市
- 機能：
 - ・ 災害対策本部の代替機能(施策)
 - ・ 一時避難場所としての機能
 - ・ 災害時医療拠点機能
 - ・ 防災都市公園機能
- 施設：
 - ・ 国の機関の合同庁舎
 - ・ さいたまスーパーアリーナ
 - ・ さいたま新都心公園
 - ・ さいたま赤十字病院
 - ・ 大宮警察署

出典：さいたま市 「防災都市づくり計画」
さいたま市 「さいたま市成長戦略」
さいたま市 「さいたま新都心将来ビジョン」より引用し作成